



Nippon Zenzai Society



出雲國に神在もちいと申事あり。京にてぜんざいもちいと申八。これを申あやまるにや。十月に八日本國の諸神ミな出雲國にあつまり玉ふゆへに。神在と申なり。その祭に赤豆をにて汁をおほくし。すこし餅を入まいらせ節々まつり候を。神在もちい申よし。(祇園物語より抜粋)

このほか、出雲ぜんざいの振る舞いや、当学会ホームページの紹介、出雲産小豆を使用した『出雲ぜんざい』の販売、ぜんざい音頭のお披露目など和やかななに行いました。



日本ぜんざい学会は、七月一日、出雲ロイヤルホテルで、日本ぜんざい学会設立並びに日本記念日協会登録祝賀会を開催しました。

当日は、県内の各地各界から一五〇名の来賓の皆様にご臨席をいただき、はじめに、当学会の田邊達也会長が設立の思いと本日までの御礼を述べました。続いて、西尾理弘出雲市長、木幡修介社団法人島根県観光連盟会長から祝辞をいただき、その後、事業会員十六者の皆様に、出雲ぜんざい提供店の認定証を田邊会長から交付しました。(写真右上)

和の食文化『ぜんざい』の継承
『ぜんざい』の味・魅力を今、世界に発信！

ぜんざい音頭も紅白に♪

作詞：手銭 誠 作曲：よねやまみちお



♪ぜんぜんぜんざい
四季・春から冬を、『ぜんざい』と人々との出会いを楽しく唄っています。
『ぜんざい』だけでなく、目標は紅白出場！



ぜんざい de ぜんしん



これまでの『ぜんざい』の長い歴史の伝承を基に立ち上げた、【日本ぜんざい学会】による、神話の夢舞台出雲からの、『ぜんざい』の新しい物語の序章に西尾出雲市長と田邊会長が握手。これからの、『ぜんざい』の永い歴史づくり。和の食文化『ぜんざい』の世界に情報発信。『ぜんざい』を通じた和の美・味・魅力で出雲のまちづくりをさらに前進。当学会直営による、おもてなしの店1号店の開店を誓い、その熱い思いと会員の暑い姿を目に市長の手をさらに強く握る田邊会長。現在、当学会の会員は、47名。ご加入のお問合せは、事務局までお気軽にどうぞ!!

今年が目玉は『ぜんざい』



島根県観光連盟の木幡会長は祝辞のなかで、「島根県観光連盟が目指してきた、石見銀山遺跡の世界遺産登録の決定を見ることができた。ぜんざい発祥の地が出雲ということは、今日の今日まで全く知らなかった。しかし、我田引水ではなく、江戸初期には、『祇園物語』や林羅山の『梅村載筆』、『雲陽誌』に記されており、今まで何故だれも気づかなかったのが不思議。このことは大発見だ。島根県観光連盟は、今年が目玉は『ぜんざい』に、出雲からめでたく生まれた『ぜんざい』を早速、全国のみなさんに伝えたい。」と述べた。

～有難うございます～

◆日本ぜんざい学会新聞
第貳号 Vol.2
◆発行日
平成19年7月10日発行◆
発行責任者
日本ぜんざい学会
会長 田邊達也
◆事務局
〒699-0721
島根県出雲市大社町
修理免 735-5
出雲観光協会内
電話.0853-53-2112
FAX.0853-53-5856
http://www.1031-zenzai.com



小豆(出雲産大納言)を使用した【出雲ぜんざい】を当学会から新発売!!